

## 8 視察

### (1) 「海の森」の視察及び植樹

「海の森」は、10年後の東京の姿を、水と緑の回廊で包まれた美しいまち東京の復活を目標に、ごみと建設残土でつくられた中央防波堤内側埋立地を、約88ヘクタールの広大な森に生まれ変わらせる事業で、30年間に48万本の苗木を植栽するプロジェクトである。

当日は、二酸化炭素の削減、東京都が推進する「海の森」プロジェクトへの参加を目的に、中央防波堤内側埋立地内海の森公園予定地において、菅原東京都副知事の音頭で、視察参加者35名による植樹を行った。



「海の森」で植樹する参加者



植樹終了後の記念撮影

### (2) セッション1 「都市の気温上昇」関連施設視察

#### ■ 大手町・丸の内・有楽町地区再開発

東京都千代田区の手町・丸の内・有楽町地区では、官民一体となって定めたまちづくりのルールの下、環境共生型のまちづくりに取り組んでいる。同地区では、東京湾から連続する水面や皇居の緑等の自然環境を活かすとともに、「風の道」を考えたまちづくり、屋上や壁面の緑化、保水性舗装や高効率な地域冷暖房システムなど、まち全体でヒートアイランド対策を進めている。

当日は、同地区の環境PR拠点である「エコツェリア」において、DVDや模型等による、まちづくりに関する説明を受けた後、東京都が導入している環境対策型道路舗装などの視察を実施した。



「エコツェリア」における説明聴取及び視察

### (3) セッション2「水不足」関連施設視察

#### ■ 芝浦水再生センター（膜ろ過システムの実験プラント）

東京都区部には、13か所の水再生センターが設けられ、一日当たり約450万 $\text{m}^3$ の下水を処理している。今回視察を行った芝浦水再生センターでは、千代田区や中央区などの都心地域の下水の処理を行っているほか、官庁街である永田町及び霞が関地区など4つの地区に対して、トイレ用水等として、下水処理水を高度に処理した再生水を供給している。

当日は、再生水利用に関する説明を受けた後、安価で高品質な再生水の製造のための実証実験を行っている、同センター内の実験プラントの視察を実施した。



再生水に関する説明聴取



実験プラントの視察

#### ■ 水道局研修・開発センター

東京都水道局研修・開発センターは、漏水防止等に関する実技研修などを通じた技術力の継承、職員の能力向上、ニーズの多様化に直結した研究開発を実施し、事業運営の効率化と顧客サービスの向上を図るために設立された施設である。

当日は、同センターに関する説明を受けた後、センター内の電気実習室、機械実習室、大口径配管実技場、小口径配管実技場、管内調査ロボット、漏水防止の探知及び処理、土留構造物モデル、浄水処理プラントなどの視察を実施した。



機械実習室の視察



漏水防止研修等実施エリアの視察

(4) セッション3「洪水・自然災害」関連施設視察

■ 神田川・環状七号線地下調節池

東京都は、洪水による被害を防ぐため、浸水の危険性が高い河川を中心に、河道の拡幅、分水路や調節池の整備を進めてきた。今回視察を行った神田川・環状七号線地下調節池は、道路の地下に、延長4.5km、内径12.5mの大規模トンネルを掘削し、大雨時には、河川の洪水の一部を流入させ、洪水約54万 $m^3$ を貯留し、河川水位が下がった後に貯留水を河川に排水するという、大規模な地下式の調節池である。

当日は、模型等を用いた施設に関する説明を受けた後、水の流入・排水設備等の運転操作や監視制御を行う管理棟、河川から地下に水を落とす立坑、調節池トンネルなどの視察を実施した。



調節池に関する説明聴取



調節池トンネルの視察

■ 東京都防災センター(オプション)

東京都防災センターは、災害対策を円滑に行えるように災害情報の収集、伝達、情報の処理・分析を行い、同時に各防災機関に対して、指示・要請を行う中枢の施設であり、防災行政無線を活用したデータ通信機能及び画像通信機能を持つ防災情報システムを整備している。

当日は、説明を受けた後、危機発生時に、災害対策会議を開催する災害対策本部室や各防災機関との連絡を行う指令情報室などの視察を実施した。



東京都防災センター